

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390300487
事業所名	グループホームホームめいほく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 事業所の設立は地域の声を反映させたものです。その存在感が示されるかのように、町内会の一員として夏祭り、餅つき、しめ縄づくりといった多様な行事に積極的に参加して地域交流を深めています。また法人職員が自治会長を務めていることから地域情報が入りやすく、毎月開催の認知症カフェに集まる地域住民からは生の声が届く体制にあり、地域全体との結びつきを築いています	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域包括支援センター職員、町内会長、町内会副会長、家族代表で運営推進会議が構成され、隔月開催の継続によって多岐に渡る視点並びに意見が集まっています。利用者の様子をはじめとする運営状況、町内会の行事参加予定などの事業所からの報告には、メンバーの提案や助言が都度挙がり、運営に理解と協力が得られる場となっています	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 名古屋市からの配信メールは確認に努め、最新情報を把握しています。地域包括支援センターには運営推進会議に毎回足を運んでもらえるとともに、入居相談が寄せられることもあり、良好な関係を築いています。また利用者は社会福祉協議会が主催する「認知症本人の会」に参加するほか、管理者は「愛知在宅福祉サービス事業者懇談会」の世話人として行政に協力しています	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 「みなみ町福祉センターだより」を毎月発行し、豊富なカラー写真や文章と共に事業所の日々の様子を報せています。利用者並びに家族の要望は速やかに検討していますが、安全面を考慮すると改善できないこともあり、その時は丁寧にできない理由を説明しています。また利用者との会話が豊富なことから、食べたいものや買い物などの実現は確かです	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	—	—	—	○							